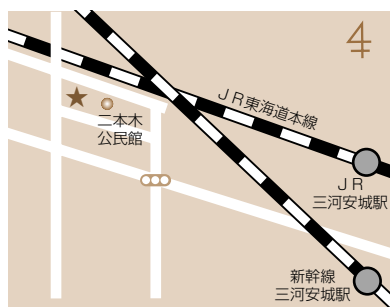
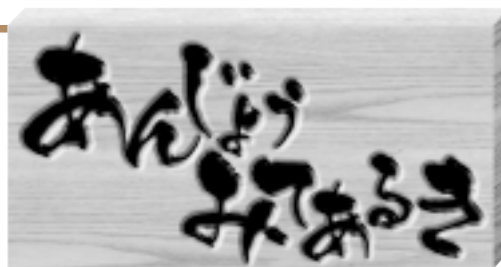




★二本木公民館西隣の調整池

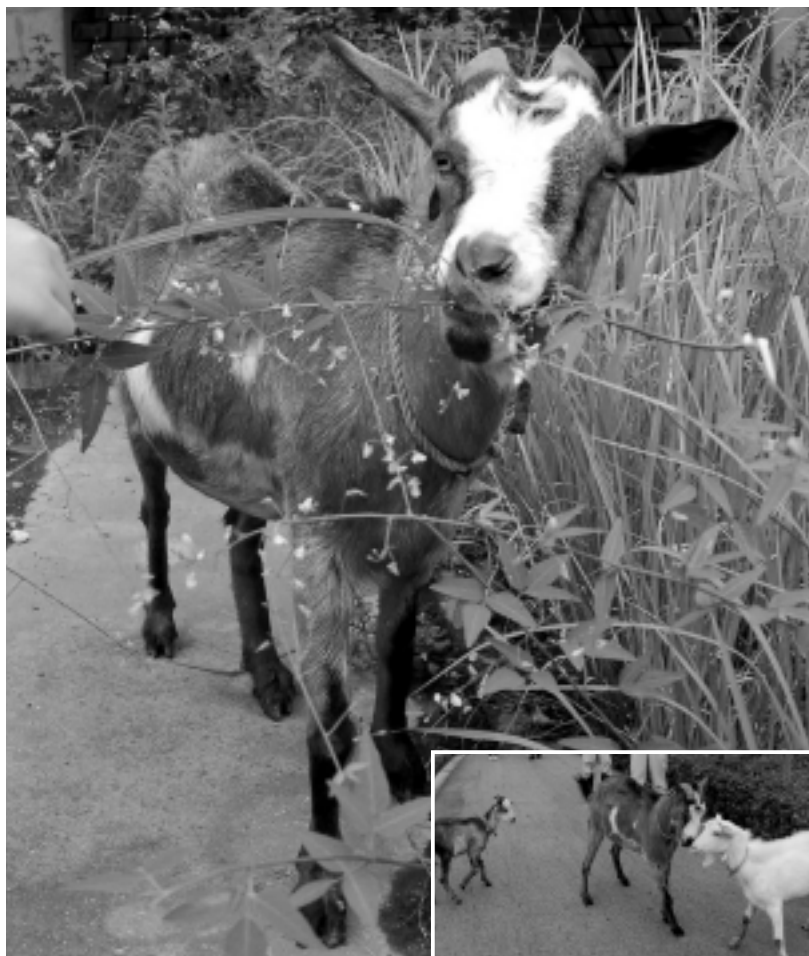


その30

ヤギ放牧

「メエエエー」

二本木公民館の外にいます、時折聞こえる鳴き声。9月14日から11月までの間、公民館西隣の調整池に3頭のヤギが放牧されているのです。ねらいは、ヤギによる除草。今回の放牧は実験的なもので、ヤギの食べる雑草の種類や量、除草効果を調べています。



このヤギは宝飯郡小坂井町にあるNPO法人「やぎのいる風景」からお借りしたもので、茶色（雑種・3歳）、白色（ザーネン種・0歳）、グレー（雑種・0歳）の3頭。

ところで、なぜ今、ヤギの放牧なのでしょう。空地や河川敷などの草刈りをしないとそこにカメムシなど害虫が発生し農作物に被害を及ぼ

します。しかし、草刈りには多くの人手や時間、費用が必要となります。そこで助っ人ヤギさんの登場。放牧して害虫が生息する草を食べてもらうのです。大きなヤギで草を一日5kgも食べるとのことですが、見ると確かに休みなく草を食べています。

さて、皆さんもご存じの童謡「やぎさんゆうびん」の歌詞に『白やぎさんからお手紙ついた♪黒やぎさんたら読まずに食べた♪』とあります。口ずさんでいて思うのは「ヤギは本当に紙を食べるのか?」。昔の紙は植物だけで作られていたので食べることもできました。しかし、今一般的に使われている紙は、植物以外を原料とする成分が含まれているので、ヤギは消化することができず腸を詰まらせてしまう危険があるようです。だから紙を与えてはいけません。また、今回の実験ではヤギの除草効果を調べているので、皆さんはえさをあげないでください。

フェンス越しにのんびりと草を食べる姿を眺めていると、飽きませんし、ゆったりとした気持ちにもなれます。癒やし効果もあるんですね。広がる緑の田園にヤギのいる風景。安城のあちらこちらでこんな光景が見受けられるようになるのは「夢」なのでしょうか。